



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社
 コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 桜田 弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理グループマネージャー (氏名) 君塚 俊秀

TEL 0475-26-0160

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	14,855	4.4	△289	—	△472	—	△708	—
24年3月期第1四半期	14,224	△13.8	181	△77.9	116	△72.5	△76	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △2,807百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △457百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△15.95	—
24年3月期第1四半期	△1.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第1四半期	141,040	—	125,966	—	85.6
24年3月期	143,130	—	129,361	—	86.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 120,765百万円 24年3月期 123,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,300	4.4	△150	—	△300	—	△1,000	—	△22.51
通期	63,700	9.0	1,600	52.3	1,950	82.7	800	—	18.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、通期の業績予想につきましては、今回見直しを行っておりません。第2四半期連結決算発表時に見直しを行う予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、「添付資料」3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	45,886,739 株	24年3月期	45,886,739 株
25年3月期1Q	1,461,236 株	24年3月期	1,461,101 株
25年3月期1Q	44,425,567 株	24年3月期1Q	44,426,175 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の業績予想は、当社が現時点で得られた情報を、合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な状況により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 平成25年3月期の配当予想につきましては、引き続き厳しい経営環境が予想されるため、現時点では未定とさせていただきます。今後の業績などを総合的に勘案いたしました上で、公表が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国での景気の緩やかな回復が続くなか、中国での景気拡大の鈍化や欧州における金融不安の高まりなどにより本格的な回復基調は見られず、厳しい状況が続いております。

一方、国内経済は、電力供給の制約や円高の進行、デフレの影響などにより依然として厳しい状況にあるものの、東日本大震災の復興需要などを背景として緩やかな回復が見られました。

このような状況のなか、当社グループは、国内外拠点を活用した最適地生産の推進や海外を中心とした販売体制の強化をはかりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は148億5千5百万円(前年同期比4.4%増)となりました。このうち海外売上高は、アジア市場での売上げが伸びたことから75億6千1百万円(前年同期比2.6%増)となり、国内売上高も72億9千3百万円(前年同期比6.4%増)となりました。収益面では、新規事業参入に伴う初期コストの影響から営業損益は2億8千9百万円の損失(前年同期は営業利益1億8千1百万円)、また、為替変動の影響により経常損益は4億7千2百万円の損失(前年同期は経常利益1億1千6百万円)、四半期純損益は7億8百万円の損失(前年同期は四半期純損失7千6百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① 電子部品事業

蛍光表示管は、東日本大震災の影響による世界的なサプライチェーンの混乱が収束したことから、国内市場の車載用途向けや海外市場における音響用途向けが伸展し、売上げは前年同期を上回りました。

蛍光表示管モジュールは、主力であるPOS用途向けが前年をやや下回ったものの、車載用途向けが海外・国内市場共に大幅に伸長したことなどにより、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は57億4千3百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器につきましては、前期に市場投入した空用プロポ「18MZ」や「8JG」が好調に推移したものの、国内市場における個人消費の低迷の影響から売上げは前年同期を下回りました。また、模型用エンジンにつきましても、海外・国内市場共に需要が低迷したことから売上げは前年同期を下回りました。

産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けや農業関連向けのテレコントロール製品が好調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は17億3千4百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきまして、海外では、中国市場が横ばいで推移したものの、韓国市場における自動車用途が増加したことから、売上げは前年同期を上回りました。国内では、既存商品の営業強化に加え、用途拡大を目的としたモールドベースのKシリーズやプレジジョンプレートのLシリーズを市場投入したことにより、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は73億7千8百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や投資その他の資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ20億8千9百万円減少し1,410億4千万円となりました。

負債は、短期借入金や退職給付引当金の増加および賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ13億4百万円増加し150億7千3百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定や利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ33億9千4百万円減少し1,259億6千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は85.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成24年5月15日の決算発表時の予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成24年8月7日)公表の「業績予想の修正および為替差損(営業外費用)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,451	58,676
受取手形及び売掛金	17,411	17,148
有価証券	6,628	6,083
商品及び製品	4,367	4,230
仕掛品	2,476	2,404
原材料及び貯蔵品	5,478	5,178
その他	1,116	1,277
貸倒引当金	△117	△114
流動資産合計	96,812	94,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,975	11,597
機械装置及び運搬具（純額）	6,774	6,632
工具、器具及び備品（純額）	527	515
土地	15,524	16,061
リース資産（純額）	117	114
建設仮勘定	1,681	2,086
有形固定資産合計	36,600	37,008
無形固定資産	1,121	1,169
投資その他の資産		
投資有価証券	6,558	5,892
その他	2,162	2,206
貸倒引当金	△124	△121
投資その他の資産合計	8,595	7,978
固定資産合計	46,317	46,156
資産合計	143,130	141,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,802	5,020
短期借入金	36	374
未払費用	2,233	2,386
未払法人税等	331	291
賞与引当金	1,074	708
その他	1,448	2,191
流動負債合計	9,926	10,973
固定負債		
長期借入金	31	27
退職給付引当金	2,574	2,884
役員退職慰労引当金	19	27
その他	1,217	1,160
固定負債合計	3,842	4,100
負債合計	13,769	15,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	97,127	95,932
自己株式	△3,275	△3,275
株主資本合計	138,005	136,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64	△490
為替換算調整勘定	△13,988	△15,552
その他の包括利益累計額合計	△14,053	△16,043
少数株主持分	5,409	5,200
純資産合計	129,361	125,966
負債純資産合計	143,130	141,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	14,224	14,855
売上原価	11,051	12,011
売上総利益	3,173	2,844
販売費及び一般管理費	2,991	3,134
営業利益又は営業損失(△)	181	△289
営業外収益		
受取利息	89	99
受取配当金	83	57
作業くず売却益	53	61
その他	90	48
営業外収益合計	317	267
営業外費用		
為替差損	369	343
その他	13	106
営業外費用合計	382	449
経常利益又は経常損失(△)	116	△472
特別利益		
固定資産売却益	56	7
受取保険金	62	—
その他	—	0
特別利益合計	119	8
特別損失		
固定資産廃棄損	7	8
災害による損失	40	—
その他	9	0
特別損失合計	57	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	178	△473
法人税、住民税及び事業税	135	141
法人税等調整額	0	△40
法人税等合計	135	101
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	42	△574
少数株主利益	119	133
四半期純損失(△)	△76	△708

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	42	△574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△425
為替換算調整勘定	△530	△1,807
その他の包括利益合計	△499	△2,232
四半期包括利益	△457	△2,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△552	△2,662
少数株主に係る四半期包括利益	94	△145

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,255	1,789	7,179	14,224	—	14,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	5,255	1,789	7,180	14,224	△0	14,224
セグメント利益又は 損失(△)	△334	190	324	179	1	181

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,743	1,734	7,378	14,855	—	14,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	5,743	1,734	7,378	14,855	△0	14,855
セグメント利益又は 損失(△)	△705	155	260	△289	—	△289

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。